

高大連携事業の修了書を掲げる生徒ら



## 大学、短大講義 貴重な経験に

### 光星高生徒 高大連携事業閉講式

八戸学院光星高（小野崎龍一校長）の生徒が、八戸学院大（水野眞佐夫学長）と八戸学院大短期大学部（杉山幸子学長）の講義を受ける高大連携事業の閉講式が24日、同大で開かれた。受講した2年生26人のうち20人が出席し、学生に交さって勉強した有意義な日々を振り返りながら、修了書を手にした。

同高の生徒は4月から週1回、同大や短期大学の講義に参加。数学、英語、中国事情、

ピアノレッスン、健康と運動について学んだ。閉講式では、水野学長が「それぞれが『やってみよう』という講義を受け、楽しんでもらえたと思う。これからの人生を豊かにしてほしい」と述べ、意欲的に学んだ生徒たちをねぎらった。保育福祉科の田村愛美さん（17）が代表で、水野学長から修了書を受けた。

中国事情の講義に参加した、ビジネス科の船渡海音さん（17）は「留学生の方とも交流でき、貴重な体験だった」と語った。

（稲村安莉）